

2026年度
湘南白百合学園中学校
入学試験問題
国語

帰国生入試 45分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

○受験番号・氏名は解答用紙にも書くこと。

① 次の——線部の漢字は読みをひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

- ① 海辺の借家に住む。
- ② チームの要として活躍する。
- ③ 従順な態度で過ごす。
- ④ 好評を博す。
- ⑤ 最後の判断をあなたに委ねる。
- ⑥ ヒョウガ期の化石。
- ⑦ カンセン道路の工事。
- ⑧ ピアノをドクソウする。
- ⑨ 早起きのシユウカン。
- ⑩ SF映画の構想をネる。

② 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

君たちがさしあたり直面するのは、受験と雇用です。何を勉強したいのか、決めるのは自分です。大事なのは何をしたいかです。① 学術領域を選ぶ時に、将来的に安定した職業に就けるというような動機では選ぶべきではありません。それだと自分の持っている潜在能力の100%までしか出せません。100%が上限です。でも、人間は潜在能力の150%とか200%とかまで出そうと思えば出せるんです。自分で想像している以上の能力を発揮できる。そのことに寝食忘れて熱中する。面白くしょうがないという時に、その人の潜在能力が爆発的に発揮される。そういう分野を探り当てるのが皆さんの仕事です。先ほど日本の将来が悲観的であることを言いましたが、それを*V字回復させる可能性を持っているのは、君たちです。君たち一人一人が100の期待値を150や200にする。それをしてくれたら、日本の再生は実現できます。

(中略)

君たちがこれから迎える時代は本当に厳しい時代です。お互いに足を引っ張り合う競争なんかしている暇はありません。そんなことをしていたら共倒れになる。周りを見渡して、隣にいる人がどんな才能を持っているか、どんな資質があるのか、まだ発揮していないどんな力があるのか、それを見出して、どうしたらその才能が開花するのか、それを見きわめることが一番たいせつです。友だちの成長を支援する。そうすることによって、集団としての生きる力を高めてゆく。

人間は一人では何もできません。僕たちが価値あるものを創り出すことができるのはさまざまなたちと共同作業をすることを通じてです。だから、同世代の仲間が大事なんです。一緒にチームを組んで、共同作業で互いに手持ちの100%を超える能力を発揮する。そういう価値創造的な働き方をこれからはしなければいけない。ですから、隣にいる仲間を見て、さあ、どうやったらこの人が機嫌よく働いて、次々と新しいアイデアを生み出してくれるか、それをどうサポートしたらよいか、それを君たちの世代はまず考えないといけないんです。

僕らの世代は競争的な環境でした。周りを蹴落として出世することが奨励されていた。それが可能だったのは、子どもがいくらでもいたからです。高度経

済成長期ですから、勝者が取るだけとつても、まだまだたつぷりと分配する資源が残っていた。本当にそうだったんです。仕事だってそうでした。高度成長期にはいくらでも仕事があった。あらゆる業界が「猫の手も借りたい」くらいに忙しかったんです。だから、「猫の手」程度の社会的能力しかない人間にも次々と仕事は回ってきた。そんな豊かな時代だからこそ、「勝者が総取り」というようなワイルドな競争をすることができたんです。

でも、今は環境が違います。環境が変わった以上、生存戦略も変わります。国民同士を競争させていけば国力が上昇する時期もあるし、そんなことをしたら国が衰退するという時期もある。今の日本には同世代で競争なんかしている余裕はありません。同世代の間で相対的な優劣を競って、足を引っ張り合っていたら、たちまち共倒れする。だから、頭を切り換えなければならない。②「競争」から「共生」に頭を切り換えなければならない。

③君たちはある意味でもっと利己的になっていいんです。どうやって自己利益を最大化するか、それを考えたなら、相対的な優劣を競う暇なんかないということに気づくはずですよ。競争する人は、周りの人たちが自分より無能で無力であることを願うようになります。自分以外の全員が「バカ」という時に競争優位は安定する。でも、自分以外の全員が「バカ」というような無力で無能な集団が生き延びられるはずがありません。生き延びるためには、できることなら全員がさまざまな分野で有能であることが望ましい。そういう人たちと共同作業するなら、集団全体としては堂々たるパフォーマンスを示すことができる。そういうチームでは誰も競争的なマインドは持たない。自分は誰より優れているのか、自分は誰より劣っているか、そんなことは考えない。だって、そういうチームでは全員がそれぞれに「*2 余人を以ては代え難い」固有の才能を発揮しているからです。固有であるということは比較できないということですよ。

昔から『荒野の七人』とか『ナバロンの要塞』とか『スパイ大作戦』とか、少数精鋭のチームで困難なミッションを達成するというドラマがありました。喩えが古すぎて、皆さんにはわからないかも知れないけれど、④そういう映画やドラマがたくさんあったんです。こういうチームでは、全員が特殊技能の持ち主です。爆弾の専門家、機械の専門家、変装の専門家、外国語の専門家……そういう特殊技能を持った人たちが集まってチームを作る。そんなチームでは、誰も仲間の能力の相対的な優劣を語りません。優劣を論じることができない。全員がばらばらの能力を持っているからです。でも、それが生き延びることのできる集団なのです。そういう人類学的教訓を、物語を通じて僕たちは学んできたのです。皆さんも、これから日本が衰えてゆくという危機的状況を生き延びるためには、そういう集団を作ってゆかなければならない。

(内田 樹 『どうしたらいいかわからない時代に僕が中高生に言いたいこと』)

注 *1 V字回復……(グラフの線がV字形になることから)低下していたものが急速に回復すること。

*2 余人を以ては代え難い……その人にしかできないこと。

問一——線部①「學術領域を選ぶ時に、将来的に安定した職業に就けるといような動機では選ぶべきではありません」とありますが、なぜですか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 受験や雇用という短期的な目標にとらわれると、日本経済のV字回復に貢献できないから。

イ 安定した職業に就くこと自体が、将来を見通すことのできない現代社会において難しいから。

ウ 自分の潜在能力を超える能力を社会が評価しないため、結局は成功につながらないから。

エ 安定した職業に就くための学問は、個人の潜在能力を最大限に引き出す機会が少ないから。

問二——線部②「『競争』から『共生』に頭を切り替えなければならない」とありますが、なぜですか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 高度経済成長期は資源が豊富で競争が許容されたが、現代は限られた資源の中で皆が生き残るための協力が不可欠だから。

イ 高度経済成長期とは環境が異なり、現代の若者は競争を望まず、互いに協調し合うことを重視しているから。

ウ 高度経済成長期の「勝者が総取り」するような激しい競争的な環境が、日本の将来を悲観的にした根本の原因だから。

エ 高度経済成長期を経てきた現代社会は、競争によって個人の潜在能力が十分に発揮されにくくなってきているから。

問三——線部③「君たちはある意味でもっと利己的になっていいんです」とありますが、筆者はなぜこのように述べるのですか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 新しい時代を生きていく世代は、競争による優位性を安定させるために、周りの人々を自分より無力な状態であることを願うようになるから。

イ 自分の才能を磨くことが若い世代には必要であり、他者への支援をしばらくそのままにすることで、集団のパフォーマンスを高められるから。

ウ 個人の利益はあくまでも最優先に考え尊重されるべきものであるため、他者との協調は、その先にある課題として無視しても構わないから。

エ 他人の弱点を見つけて優位に立つのではなく、有能な集団内で自己の能力を最大限に発揮することこそが、真の自己利益の最大化につながるから。

問四——線部④「そういう映画やドラマ」とありますが、このような例を挙げているのは、なぜですか。最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 過去のエンターテインメント作品を通じて、共同作業で目的に向かう楽しさや重要性を改めて思い出させるため。

イ 昔から人々は「少数の精鋭」による競争的な物語を好み、現代でもこの考え方が重要であることを強調するため。

ウ 全員が固有の技能を持つチームの協働が、現代社会で求められる共生の在り方と通じることを示すため。

エ 過去の作品から学び、現代の若者が直面する危機的状況を乗り越えるための具体的な方法を教えるため。

問五 この文章全体の主張として、筆者が現代の若者に最も強く伝えたいメッセージはどのようなことですか。「個人の幸福と日本の再生を実現するためには」を主語にして、続きを五〇字以内で答えなさい。

個人の幸福と日本の再生を実現するためには、

(五〇字以内)

問六 あなたはこれからの時代を生きる人として、何を勉強し、何をしたいですか。次の(注)①～④にしたがい、四〇〇～八〇〇字以内で自分の考えや思うことを述べなさい。

(注)

- ① 解答用紙は縦書きで、一行目から始めること。
- ② 表記は原稿用紙げんこうの用い方にしたがうこと。
- ③ 考えや思うことは、理由や根拠こんきよを示しながら分かりやすく書くこと。
- ④ 文章全体は適切な段落で構成すること。

問題は以上です。

